

2023 PDGA Masters Disc Golf World Championships参戦レポート

この度、日本からPDGAメジャー大会となる2023 PDGA Masters Disc Golf World Championshipに出場させていただきました、三浦 奏です。自分自身にとって初めてのアメリカでのディスクゴルフトーナメント、しかもメジャー大会、また単独での渡米や移動ということもあり全てが新しい体験でした。これからアメリカでのトーナメントに出場を考えている方にとって少しでも参考になればと思い滞在の記録を報告させていただきます。

7月6日（木）出発

出発は7/6木曜日、成田からロサンゼルス空港へのフライトでした。およそ11時間、私の場合は機内で全く寝ることができずロサンゼルス空港についたのが7月6日の朝8時でしたがフラフラの状態非常に危ないことに国内線乗り換えまでの間ターミナルで2時間ほど寝てしまいました。危険なのでターミナルで寝るのは本当にやめた方がいいです。私は何も盗られたりせずラッキーでした。ロサンゼルスからは国内線でアリゾナ州フェニックスへ1時間半ほどのフライト。その夜は、フェニックスに住んでいる日本人の友人宅へ泊めていただき、美味しいレストランで夕食もご馳走になりゆっくり身体を休めることができました。

7月7日（金）練習1日目

7/7金曜日、友人のご好意で大会が開催されるフラッグスタッフまで車で送ってもらえました。この日のフェニックスはなんと気温44°C。日本も猛暑のようでしたがアメリカでも連日猛暑の話題がニュースを賑わせてました。日本より湿度が低いのでまだマシですが、少し外にいただけで全身焼かれるような暑さでした。フェニックスから2時間ほどのドライブで昼過ぎにフラッグスタッフへ到着し、友人と別れ早速練習へ向かいました。今大会が開催されたアリゾナ州にあるフラッグスタッフは、気温は30°C前後で乾燥しているためまだ過ごしやすいですが、しっかり水分補給をしないとすぐに喉がカラカラになります。大会側からもしっかり水を飲むようにと注意喚起が出ていました。ここは避暑地



で私が行った時期も多く観光客で賑わっていました。標高が2100mに達する高地でもあります。

今回私が出場したMP40(40代以上のクラス)は、メインホテルがあるLittle America Long (以下、LML)というコース、ダウンタウンに程近いThorp Park(以下、THP)という2つのコースを周ります。他部門も合わせると全部で5コースが公式コースとなっていました。この辺もさすがメジャー大会という感じがしますね。

この練習初日はまだ金曜日だったので、近隣の他の大会に出場することも考えたのですが、標高2000mを超える高地への順応ということを考えて大会初日までの4日間全てを練習日に充てることにしました。練習初日のこの日はLMLで練習を行いました。LMLは、距離は長めで、背が高い木が並びます。ややアップダウンがありますが、オープンでOBなどは少なめです。

この標高まで来ると「ディスクがかなりオーバーステイブルに感じる」と事前にアドバイスをいただいていたので、私はディスクを少し軽く、またアンダー傾向のディスクを多めに持ってきていました。確かにステイブル感は強く感じましたが、比較的ディスクの順応はしやすかったように思います。ただいつもレパードを投げているようなラインもサイドワインダーなどで対応しました。初日の練習では-2のスコアでまずまずといった感じで終わりました。



7月8日（土）練習2日目

練習2日目はTHPへ行きました。私はどちらかというとLML寄りのモーターに宿をとったため、THPまではUberタクシーを利用を考えていました。Uberは日本ではまだあまりポピュラーではないですが、アメリカでは簡単に利用できる移動手段です。アプリから現在地と目的地を入力するだけでUberドライバーが迎えにきてくれて支払いやチップもアプリ上で完結するので非常に楽です。特に英語を話さなくても乗れてしまう便利さはあるのですが、私の場合はドライバーを英会話の先生代わりにして色々なドライバーと話しましたよ。

THPは、距離はさほど長くありませんが高い木に加えて地面に倒木やブッシュが多く、また急坂もいくつかあります。高さをコントロールできないうちになかなか思うように進めない難コースでした。

この日は実は時差ボケの影響なのか寝坊してしまい9時半にコースに向かう予定だったのが、起きたら11時でした。慌ててコースに向かったところ、1番ホールのスタート前に声をかけてくれたのがジョー、ラッセル、ダグの3人でした。3人ともディビジョンは違いますが一緒に練習しよう！と言ってくれて色々とお話をしながら練習することができました。THPは本当に難しく、この日は全くダメでスコアも+9ほどになってしまいました。落ち込んでいると思われたのか、3人が



「このあとランチに行こう！」と食事に誘ってくれました。ダウンタウンのスポーツバーのようなところへ連れてってもらい本当に美味しいテキサスハンバーガーとビールをご馳走になりました。とても盛り上がった私たちはそのまま何とビリヤードやバーなどを5件のハシゴ。最後は記憶を失いましたがなんとか無事にモーターまで戻りました。でも本当に楽しかった最高の思い出です。

7月9日（日）練習3日目

前日のお酒で若干の二日酔いでしたが、しっかり練習しなくてはいけないということで昨日と同じTHPへ。前日よりはまだ良くなるはなりましたが、アップダウンに苦労してこの日も+2ほどのスコアになりました。少し疲れが溜まっていたのでこの日はモーターの近所のスーパーで買い出しをして部屋に籠りました。基本的に今回の遠征では、食事はスーパーで買ったもので済ませました。フレッシュなものを身体が求めているのでフルーツをメインで食べたり、電子レンジで温められるものなどを食べていました。お腹は満たせますが、やはりご飯は日本の方が美味しいですね。カップ麺やレトルトの食品などを全く持ってこなかったことをこの時大変後悔しました。

7月10日（月）練習4日目+プレーヤーズミーティング

練習最終日は、翌日にプレーするLMLに行きました。だいぶ身体も慣れてきたのかディスクの飛びも良くなってきました。ディスクの感覚さえうまく掴めばこの高地では逆にディスクは良く飛びます。バックハンドが130m位まで飛んだり日

本ではない感覚でディスクが飛ぶようになりました。フォアハンドも120m位までなら起こしながら飛んでいました。この日は-4のスコアが出せました。

そしてこの日の夜には、プレーヤーズミーティングが行われましたが、その際に日本の国旗を持って入場するという大役をいただきました。日本から私しかいないので当然ですが。。実に900人が集まる会場に入場したときの光景は感動的で多くの方に「Welcome!」とっていただきました。



7月11日（火）第1ラウンドLML

いよいよ初日を迎えました。

ティータイムスタートで私は10:50からの組です。私の組には今大会の優勝候補でもあるマイケル・ジョハンセン選手が。光栄に思いつつも非常に緊張したスタートとなりました。それでも一投ずつしっかりラインを確認しながら比較的落ち着いてプレーできたように思います。ここにきて調子が良くなってきたフォアハンドでいくつかバーディチャンスにつけることができました。同じ



パーティのメンバーからも「君のフォアハンドはすごい武器だね!」とってもらったのがとても嬉しかったです。ベストなラウンドではありませんでしたが-1でなんとかアンダーパーで終えることができました。マイケルジョハンセン選手は、なんとバックハンドのみでこのコースをプレーしていましたが、本当にディスクの扱いが上手く曲げ方、止め方など素晴らしかったです。見事に全体のトップスコアである-10で終えていました。

この日の帰り道にも嬉しいことがありました。LMLから私のモーターまでは歩いて20分ほどなのですが、タクシー代を節約するために歩いて帰ってました。そこで突然私の横に停まって「ディスクゴルファーかい?歩いていたら乗りな

よ！」と声をかけてくれました。話をするとアマで出場してるシェルドン選手で、日本から来ていることを話すと「すごいな！ようこそ！」と言ってくれてモーテルまで送ってくれました。色々な人の優しさでなんとか過ごせていると実感する出来事でした。

7月12日（水）第2ラウンドTHP

大会2日目は、THPへ。昨日の帰りに車に乗せてくれてシェルドンが僕と同じディビジョンのブライアンに連絡してくれて、この日はブライアンが車に乗せてくれました。本当にありがたい。

少し苦手意識のあるTHPでしたが、この日はその感じがそのまま出てしまいまず。スタートのダブルボギーに始まり、要所でのパットが決めきれずスコアを落としてしまいます。それでも気持ちを切らさずに幾つかのバーディは取りましたが終わってみると+4。高低差の感覚がとても悪く115位まで順位を落としてしまいました。一緒にプレーした選手たちも木に当てたりなど苦勞はしていますが、そこからのリカバリーが非常に上手く難しいアプローチや長いパットなどをしっかり沈めていてレベルの高さを感じました。



そしてこの夜は楽しみにしていたフライマートへ。ホテル内の大きな会場に所狭しとディスクが並べられていて、色々なメーカーの販売店ブースが多くの人で賑わっていました。ドローンの実演販売では、ホテル内の部屋に実際にドローンを飛ばして見せるなど日本では考えられない演出もあったり、有名な選手が自ら立って、自身のシグネチャーディスクを売る姿も見かけました。私は、ジュリアナ・コーバー選手のブースで購入したディスクにサインを入れていただき写真も撮っていただきました。気づけば20枚上のディスクを購入してしまい大荷物でモーテルまで帰りましたがとても楽しめました。

7月13日（木）第3ラウンドLML

第3ラウンドは再びLMLへ戻ります。身体もだいぶ慣れてきてこのラウンドでしっかり巻き返したいという思いでのぞみました。ショットに関しては、かなり調子が良く思い描いたところまで、もしくはそれ以上の飛距離を出せるのですがアプローチがなかなか上手くいきません。非常にドライな地面に苦労して、止まるところからさらに数メートル跳ねたり、小さな岩場にあたり思いがけない方向にカットしてしまいパットの距離が寄り切らず取りたかったバーディが取れないということが続きました。結局、初日と同じ-1で終了し順位を上げることができませんでした。

7月14日（金）第4ラウンドTHP

予選最終日となるこの日はTHPへ。この日に順位を上げられなければ、翌日の準決勝には進めません。しっかり上げないといけないラウンドでしたが、4日間でこの日が一番苦労しました。スコアを上げないといけない焦りもあったのかパットが全く決まらずに11ホールを終えた時点で+4とかなり落としました。でも、この大会を通じてずっと意識していた「必ず自分にチャンスがやってくるタイミングがある」を信じて下を向かずに後半をプレーしました。15番の94mPar3では、ティーショットがゴールチェーンに当たり残念ながら溢れ落ちてしまうという今大会一番



のショットがあったり、18番の152mPar4では残り18mほどのイーグルチャンスにつけたりなど精一杯のプレーでラウンドを締めることができました。スコアは+2と良くないものとなってしまい最終的にはトータル+4の116位タイで初めてのメジャーを終えました。結果は思い描いていたものとは程遠いものとなりましたが、全く通用しなかったかというところでもなく、ここで戦えるものとまだ足りないものを肌で感じ取ることができ充実した気持ちで大会を終えました。

この日の午後は、ノルウェーから僕と同じく初めてのマスターワールドに参戦したケネス選手とグランドキャニオンに観光に行きました。フラッグスタッフの街から1時間ほどのところにあるのですが、その壮大な自然の景色に圧倒されました。あまり観光らしい観光ができてい

なかったのに、ここに来たことが本当に嬉しかったです。私が見たのは本当に一部の景色で、これがどこまでも続いていると思うとアメリカという国が本当に大きいのだなと実感しました。

7月15日（土）準決勝・決勝観戦

残念ながら予選敗退となってしまったため、この日は準決勝と決勝を観戦しました。MP40+の決勝では、オープンクラスでもリードカードに度々登場するケールレヴィースカ選手、昨年のマスターのチャンピオン・ジョーロヴィーレ選手が最終ホールまでもつれる接戦を演じましたが、ジョー選手がケール選手の猛追を交わして見事連覇を成し遂げました。トップの選手たちは、多くのギャラリーが見つめる中で正確にフェアウェイに刻んでいけること、またアプローチの技術の高さに非常に驚きました。また、ラウンド全体は見ることはできませんでしたがFP40+の最終ホールを観戦することができました。こちらFPOでまだまだトップクラスのオンスコギンズ選手が圧倒的な差で優勝しました。ラウンド前にパット



練習を見学しましたが、短い距離から遠い距離まで丁寧に打ってしっかり決めてるのが印象的でした。終了後少しお話をさせていただいて、「私は日本と同じアジアのラオスにルーツがあるから、日本にも本当に行きたいと思っているの」と話していただき、ぜひ日本にもそのプレーを見せにきてくださいとお伝えしました。また、最終ホールで非常に印象的だったのがジェニファーアレン選手の立ち投げの圧倒的な飛距離でした。特徴的な身体全体を使ったフォームで飛距離のアドバンテージを持ってプレーしていました。トップクラスの選手は男女とも大きな強みを持っていて自信を持ってプレーしていることを学べました。

7月16日（日）～17日（月）決勝観戦後～帰路

決勝を観戦後、フラッグスタッフのダウントウンにある駅からアムトラックという鉄道に乗ってロサンゼルスまで戻ることになりました。陸路で移動すると12時間ほどかかるのですが、飛行機の乗り換えをしないで済むこととアメリカの大地を見ながらLAに向かってみたいと思ったからです。私が予約したのは寝台列車で、決して広くはないのですが寝るには充分でした。午後8：40発の予定でしたが遅れ

て午後10時頃にフラッグスタッフ駅に到着し、乗車後は旅の疲れもあったのかすぐに眠りにつきました。起きると翌朝6時頃でしたが、アメリカの大地を悠々と進む列車に乗りながら今回の旅の出来事を思い出したりしていました。結局LAには3時間遅れで到着することになりましたが、快適な移動でした。

この日は実はもう一つのこの旅の大きな目的があり、それがアナハイムでMLBのロザンゼルスエンゼルの試合を観戦することでした。初めてのメジャーリーグのスタジアムは本当に大きくて綺麗でスタジアムを見ているだけでも楽しめました。日本人の大谷翔平選手は地元でも大人気で、スタジアムには日本人が多く詰めかけていました。私は列車に乗ってホテルに向かう都合で8回までしか観戦できなかったのですが、見事に9回に大谷選手がホームランを打ったようで非常に残念でしたが、雰囲気は充分感じられて楽しめました。また改めて観戦に訪れたいです。

LAのホテルで一泊し翌朝、フライアウェイバスというLA周辺を走っているバスで空港へ向かい日本へ向かう飛行機へ搭乗しました。帰りも見事に一睡もできず飛行機には本当に苦戦しました。

アメリカへ挑戦して感じたこと

今回、マスターワールドへ挑戦してみて、今のタイミングで行くことができ本当に良かったなと感じました。「いつかアメリカに行きたいな」と漠然と考えてずっと過ごしてきました。まだ日本でも勝ったことがなく実績がないのにアメリカ挑戦なんてという思いがあったのですが、「いつか」は待っていても来ないと思い「やってみよう」に切り替えてチャレンジしました。私は無計画で挑んでしまって準備不足のこともたくさんありましたし、実力的にも足りない部分は山のようにありましたが、それが何なのか感じられたことが大きな収穫となりました。また自分が持っているものでも通用することがたくさんあり、本場アメリカは高い壁ではありますが登れない壁でもないとも感じました。もし、アメリカもしくは海外に挑戦したいと考えている選手がいれば、お仕事やお金など調整しなければいけないことがたくさんあるのは私も同様だったので充分理解できますが、行く価値は本当にあ



りますし自分の現在値を知る本当に素晴らしい機会になると思います。是非、挑戦してみたいです。

もう一つ、今回は私は完全に一人で遠征に出たのですがそれが本当に良かったと思いました。下調べもろくにせず向かったのは無謀だったなと今でも反省しますが色々な人の親切と優しさに触れて過ごすことができました。むしろ一人だったからこそ起きたたくさんの楽しいハプニングや出会いがあり、普段見られない景色を見ることが出来たと思っています。

今回の挑戦にあたって、日本ディスクゴルフ協会の皆さんをはじめ多くの方々にたくさんのご支援と応援の声をいただきましたこと、この場をお借りして心から御礼申し上げます。大会の結果としては良い報告とはいきませんでした。私自身にとって本当に大きな経験になりました。この経験をまた日本のディスクゴルフにお返ししていければと思っています。大会の会場でお会いした際は、聞きたいことなどあれば是非お声かけください、ありがとうございました。

三浦 奏

JPDGA #2540/PDGA #65847

